



NIKKISO GROUP

CORPORATE PROFILE





ORIGINAL TECHNOLOGIES

独創性 × 技術力 × 品質

「万が一」が許されない環境で発揮する、
独創的な技術。

絶対に漏れてはならない危険な薬液を扱う石油化学プラント。

マイナス162度の極低温状態での送液が必要な液化天然ガス。

軽さと強度、品質を極限までに突き詰める航空機生産。

安全性が命に直結する医療現場。

それらは国を支えるインフラであり、人類の生命を支えるとても重要な場所。

独創的な発想と高度な技術で生まれた日機装の製品は、

より過酷で社会的価値の高い環境下で威力を発揮しています。



PRIDE of NIKKISO

培ってきた技術と人材の力を掛け合わせ、
来るべき時代の転換点に挑む。

日機装の歴史とは、挑戦と変化の歴史です。

時代の転換点を迎えている今、これまで培ってきたモノづくりの基盤に加え、
世界中の国や地域が抱える多様な課題に対する柔軟な発想を持ちながら、
グローバルパートナーとの共創によるソリューション提供をさらに強化していきます。

時代が移り変わる転換点だからこそ、

長年“流れ”を扱ってきた日機装の真価が発揮されると信じています。

代表取締役 社長執行役員 加藤 孝一



インダストリアル事業

ポンプ・システム

高圧・定量・無漏洩・極低温等、
過酷な条件下での課題解決に貢献

特殊ポンプのリーディングカンパニーとして、世界中にソリューションを提供

日機装グループは、LNG液化基地および受入基地や発電所、LNG燃料船、水素ステーション、化学工場、半導体工場など、社会生活の基盤を支えている分野を中心に、高性能かつ高品質のポンプ・システム製品を提供しています。

ポンプ単体の技術に周辺機器を組み合わせでシステム化するエンジニアリング力とグループ各社のプロセスノウハウを融合することにより、さまざまな業界の課題解決に貢献しています。

特徴・強み

プロセスノウハウ / システムエンジニアリング / 特殊ポンプ技術 / 高圧制御技術

主要用途

資源・エネルギー市場

生産

貯蔵・流通

消費

液化基地



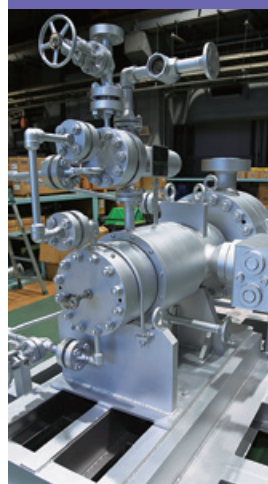
液化装置

受入基地



サブマージドポンプ

工場／発電所



キャンドモータポンプ

LNG燃料船
／水素ステーションLNG燃料船向け
燃料供給装置

遠心ポンプ 往復動ポンプ

精密機器

日機装のコア技術で、
暮らし・産業社会を支える発電プラント、電子部品、医薬品など、
さまざまな産業分野で活躍する日機装の製品

1954年に日本で初めて火力発電所向けボイラ缶水処理システムを開発して以来、日機装の製品は国内の多くの発電所で活躍しており、電力という重要な社会インフラを支えてきました。

今後は、急速な成長が期待されるAIやIoT、EV、ロボット市場を見据え、電子デバイス、次世代パワー半導体モジュールの生産工程や創薬研究を支える、独創的な技術の製品を提供していきます。

特徴・強み

システム制御技術 / 積層・熱圧着・高圧制御技術

発電所用システム

試料採取装置
(ボイラー水サンプリング等)

火力発電所



原子力発電所



地熱発電所

電子部品製造装置



温水ラミネーター



3Dシンター・3Dプレス



セラミックデバイス



半導体等電子部品



電子回路基板

売上構成比



航空宇宙事業

売上構成比

メディカル事業

売上構成比

CFRP製航空機部品のパイオニア

「カスケード」から航空機部品の総合メーカーへ

1983年に民間航空機のジェットエンジン用ナセル部品「カスケード」に、世界に先駆けて「炭素繊維強化プラスチック（CFRP）」を使用することに成功。以来、日機装製のカスケードは世界シェア90%超まで成長しました。

民間航空機の全面的CFRP化の流れに伴って、日機装はカスケード製造の経験と実績をもとに、さまざまなCFRP製部品の製造を手掛けるようになりました。

複雑形状品を成形する独自の技術やQCD（品質・価格・納期）対応力によって顧客から高い評価を得ており、CFRP製航空機部品のリーディングカンパニーとして更なる事業発展を目指しています。

特徴・強み

複合材加工技術 / 設計技術 / 納期管理

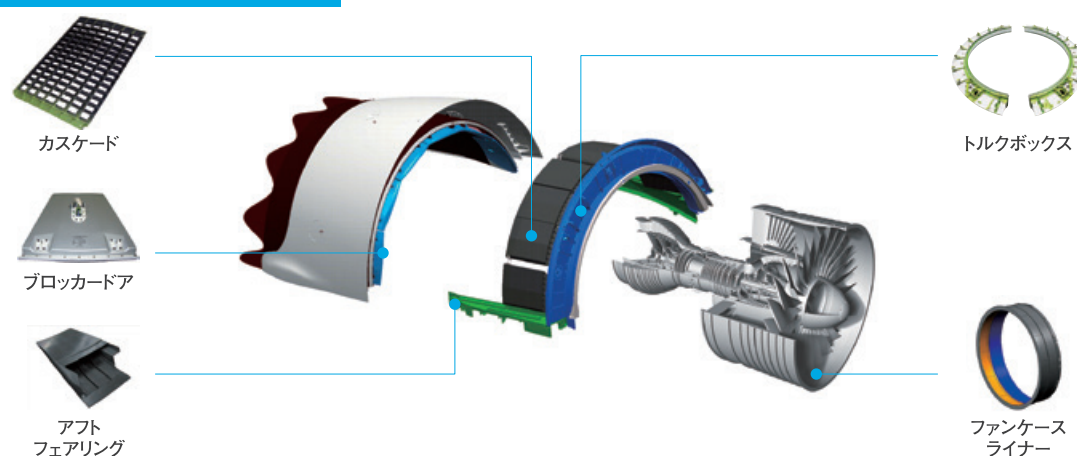
日機装が提供する民間航空機の製品例



主翼周辺部品



ジェットエンジン／ナセル部品

医療の発展と患者様のQOL向上に
独自の技術とノウハウで応え続ける

血液透析装置の国内シェア50%超の信頼と実績をもとに、新たな医療分野へ

1967年、日機装は日本で初めて血液透析装置の輸入販売を始め、1969年に国産化を実現しました。それ以降、日本における透析装置のパイオニアとして、治療方法の進化や医療環境の変化に対応して、常に新たな技術開発に努めています。また、血液透析事業のノウハウや技術を活かし、外科分野や透析以外の血液浄化分野等へと新たに事業を拡げています。

特徴・強み

血液浄化技術 / 医療機器・医薬品設計開発技術 / メンテナンス体制

医療分野

血液透析関連製品

血液透析装置



ディスポーザブル製品

外科関連製品

マイクロ波外科手術器



透析液調整装置



血液浄化関連製品

アフレスシス製品



バイオ分野

創薬研究用ヒト腎細胞
3D-RPTEC

ヘルスケア分野

水除菌装置



CHALLENGE

新たな技術に挑戦し続け、 社会に貢献し続ける

1953年にたった二人の親子で始まった日機装。今では、全世界に8,000名を超える従業員、29の拠点を持つまでに成長してきましたが、創業以来変わらないDNAがあります。

それは、「新たな技術に挑戦し続け、社会に貢献し続ける」というもの。これまでも、これからも日機装の挑戦に終わりはありません。

常に進化し続ける強いメーカーであるために

日機装は、顧客や社会の課題解決のために日々技術開発に取り組んでいます。

そのブレーンセンターが東京都東村山市にある「日機装技術研究所」です。

技術の日機装は、新たなイノベーションを技術から創造していきます。



日機装技術研究所

日機装グループが今後も顧客のニーズに対応し社会に貢献していくためには、新しい基幹技術や要素技術を開発し、日機装の新しい技術を創出していくことが不可欠です。

日機装技術研究所では、主力3事業の技術開発部門が集まり、新しい枠組みで研究・技術開発を行っています。

既存技術の水準に満足せず常に進化し続ける文化は日機装創業以来受け継がれているDNAです。

世の中にないものを独創的な発想と技術力で新たな価値を生み、事業へと進めています。



メディカル技術センター

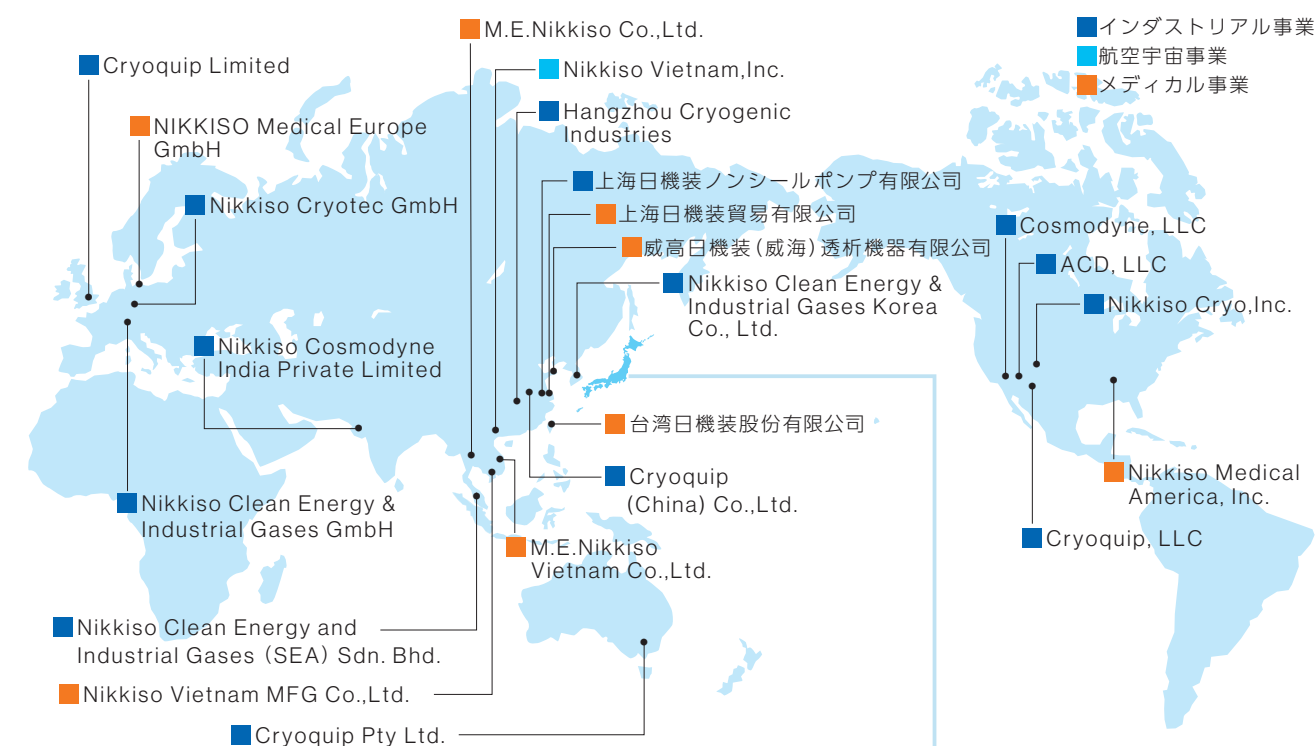
2023年1月、メディカル事業の研究開発機能を静岡から日機装技術研究所内に移管し、メディカル事業の新しい研究開発拠点、メディカル技術センターを開設しました。

メディカル技術センターでは、技術者同士の交流や外部との連携を推進しており、従来の画一的な業務運営では生み出せないようなイノベーションを起こすことを目指しています。

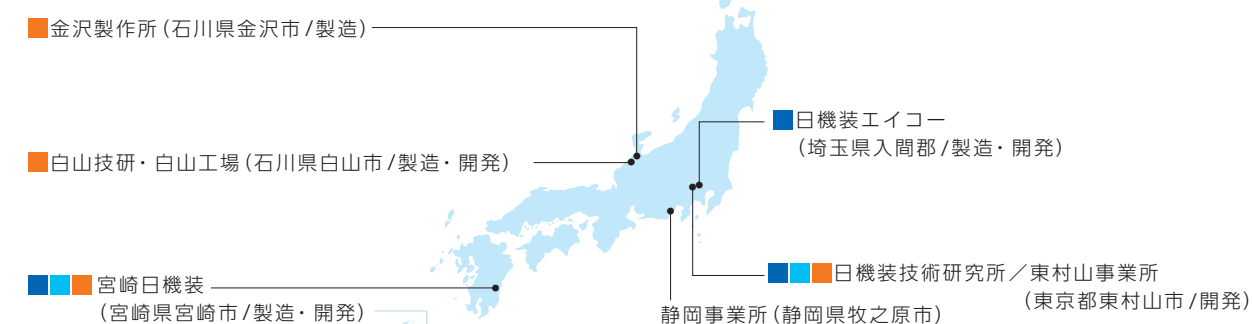
世界中の顧客ニーズに 最適なソリューションで応えます

日機装グループのグローバルネットワーク

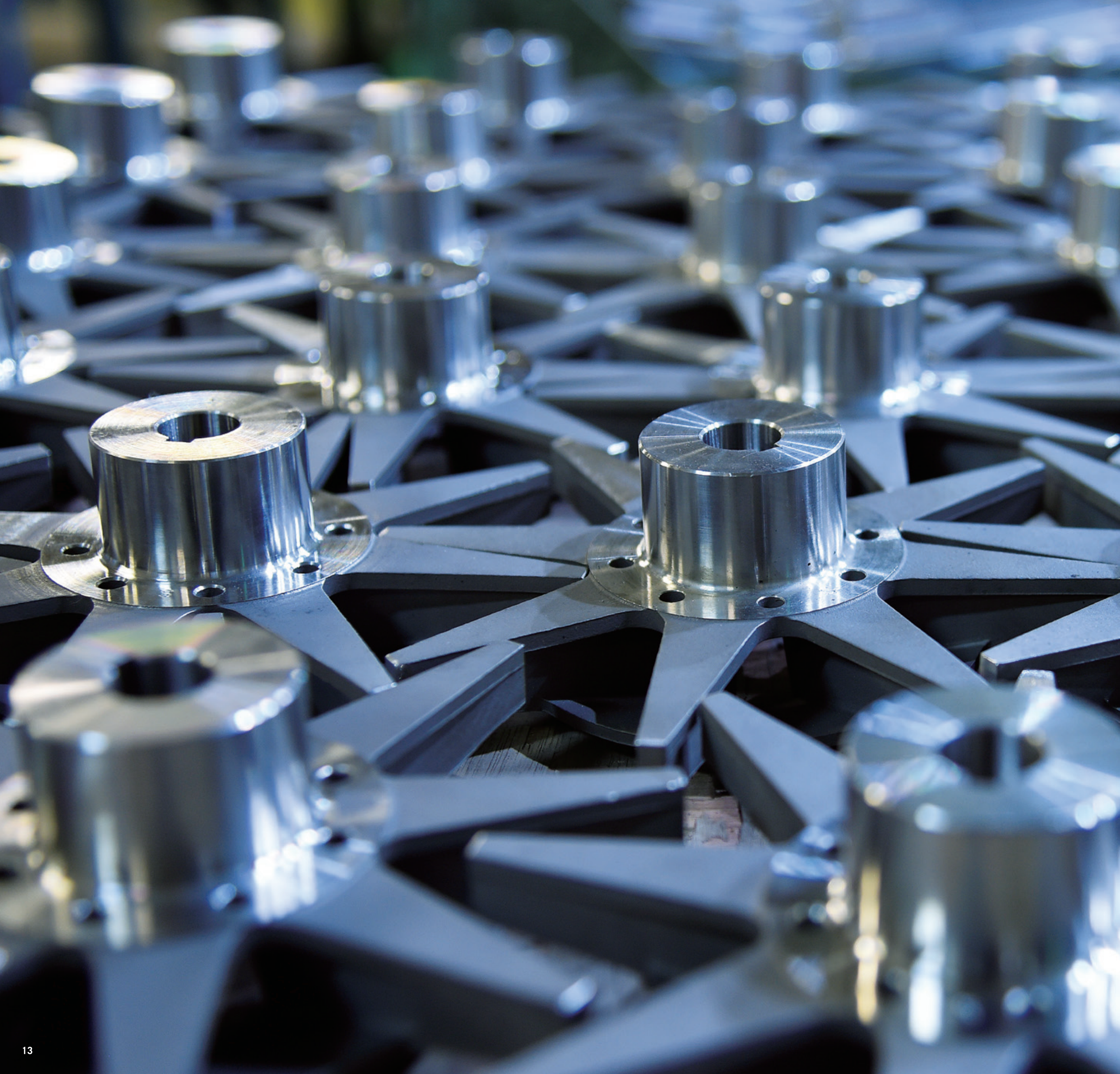
■ 日機装の製造・開発・販売拠点 (グローバル)



■ 日機装の製造・開発拠点 (国内)



GLOBAL NETWORK



会社概要

商 号	日機装株式会社 NIKKISO CO., LTD. (英文表示)
本社所在地	〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 恵比寿ガーデンプレイスタワー22階
電話番号	03-3443-3711
FAX番号	03-3473-4963
創 業	1953年12月26日
代表者	代表取締役 社長執行役員 加藤 孝一
決算期	12月31日
株 式	上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場 発行済株式の総数 69,175,664株
証券コード	6376
事業内容	インダストリアル事業 航空宇宙事業 メディカル事業

<https://www.nikkiso.co.jp>